

# 日韓アーティストの競演

## 対馬ちんぐ音楽祭

8月28日、対馬グリーンパーク芝生広場で、音楽をとおして日韓交流を目指す「対馬ちんぐ音楽祭 Vol.8」が開催されました。

当日は、台風16号の接近で風の強い日でしたが、会場には約1500人の観客が訪れました。

出演したアーティストは、日本から「小室等」「平川地一丁目」「辛島美登里」の3組。韓国からは「自転車に乗った風景」「ラブホリック」の2組が出演しました。

ステージの最後は、ちんぐ音楽祭で生まれた「ちんぐソング」を出演者全員で合唱して、音楽祭の最後を飾りました。会場につめかけた観客は、日韓のアーティストの競演に惜しめない拍手を送っていました。

また、音楽祭終了後には出演したアーティストとの交流会も開かれ、参加した観客は食事をしながら、交流を楽しんでいました。



コンサートの最後、出演者全員で『ちんぐソング』のコーラス



会場全体でちんぐソングの合唱



のびやかな歌声の『辛島美登里』さん



韓国のロックバンド『LOVEHOLIC』



Vol.0から連続9回参加の『小室等』さん



韓国の生ギターグループ『自転車に乗った風景』



兄弟デュオの『平川地一丁目』

対馬釜山事務所だよ!

# ちんぐや、ノロワ! 「ちんぐ音楽祭」へ

(友よ、遊びに来てね!チング音楽祭へ)

Vol.0から始まった「ちんぐ音楽祭」が今年で9回目を迎えました。Vol.2を最後にした私は、7年ぶりに音楽祭へ参加することができました。

酷暑の後足が残る、8月28日。

こじんまりとしたグリーンパークの中の野外ステージは、海と空をバックにしたまま9年前と何も変わらずにそこにありました。舞台の上にはドラムやキーボード、ギター、前方には芝生の観客席、あわただしく動くスタッフ、ちんぐ音楽祭をここで開きました。

「明太雑楽団」のジャズ風の演奏や歌で始まった音楽祭、その甘いリズムに乗って体は左右にゆらゆら、髪は海風に乗ってゆらゆら。この雰囲気や地元アマチュアバンドのマンディブル - が引きつぐ間に、観客席はドンドン埋まって行きました。地元ステキなバンドがいるなんて自慢です。

次は釜山の高校生達。皆様、覚えていますか? 7月広報のこのページで紹介した日本歌謡大会受賞者の高校生達が対馬に招待され、ちんぐ音楽祭に参加することができたのです。舞台の後ろからドキドキ、わくわくしていた子供たちは、本番の時には淡々と日本語で自己紹介をしました。最近の子供たちは大したものですね。最優秀チームが、受賞曲のCHEMISTRYのIt Takes Twoを歌う間、観客の中では、「だれだれ?あの子達」「あら、韓国のCHEMISTRYよ」という声も聞こえました。

毎年参加される小室さん、韓国のロックバンドのラブホリック、兄弟デュオ平川地一丁目。プロの歌手の公演の間、かなり人も多くなり会場は大盛り上がり。平川兄弟の登場では、あっちこっちから「可愛い」の連発。

続いて、韓国のフォークグループ「自転車に乗った風景」そして、辛島美登里さんまで、一通りアーティスト披露が終わりました。

最後に、熱気あつあつの舞台とその観客達を一つに結びつけるエンディングソング、「ちんぐソング」。



招待された高校生

情、通う、対馬。 交わす、笑顔、対馬。

海を越えて、ちんぐちんぐ、夢が、踊る、ちんぐちんぐ、対馬。

山は呼ぶよ、ちんぐちんぐ、君を呼ぶよ、ちんぐちんぐ、対馬。

「ちんぐ(友達)とお酒は古いほど良し」と言われます。ちんぐ音楽祭との付き合いも来年で10年になります。皆様、来年は友達同士で「ちんぐ音楽祭」に参加し、古きよしの友情をもう一度確かめてみませんか!!



観客の前で歌う

チェ・シンソン君(左)とワン・ハンオル君(右)

対馬釜山事務所 金 京一、辛 恩京